

金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション (DX) ・ 第3弾
製造業 DX の具現化手段「スマートファクトリー」の構築

主催 : 一般財団法人 素形材センター
一般社団法人日本金属プレス工業協会

近年の我が国製造業に押し寄せるリスクや課題の数々、この危機的状況を打開するには DX の推進が必須となる。例えば、企業内の製造プロセスはおろかバリューチェーン全体をネットで統合、さらにはサイバー空間においてデジタルツインシステム(CPS)を構築して全体の見える化を図る。それをベースにして工場自体が自律的に生産状況を判断、最適化するような仕組みをつくる、すなわち、スマートファクトリーの構築である。実現すれば、労働生産性の大幅向上、市場での競争力強化も可能となろう。スマートファクトリー構築には、まず現場の自動化・見える化が重要となるのは当然として、老朽化して変革の足かせとなる基幹系システムの刷新を含めた新たなシステムの構築も不可欠である。本セミナーでは、その中心的システムとなるべく「現場の見える化システム (PLC・SCADA)」、そして「工場管理システム (MES) 」と「経営管理システム (ERP) 」について、それぞれがどのような内容のシステムで、実際には何ができるのか、さらに、これ等のシステムを垂直統合してスマートファクトリーとして具現化させる際の問題点等々、講師の方々の様々な体験を交えて紹介いただく。

●日時 令和7年2月21日(金)13:00～17:00

オンラインセミナー (Cisco Webex Meetingsを使用)

●プログラム

コーディネーター 元湘南工科大学 片岡 征二

1. 「セミナー企画趣旨説明」～製造業 DX の目的とその進め方～-----13 : 00～13 : 30

製造業 DX は、「モノづくり技術」と「デジタル技術」という既存の知の「新結合」によって生まれるイノベーションである。イノベーションとは、簡単には、新たな「市場価値創出」であり、ここで目標とするのは「生産能力」・「市場競争力」・「企業の稼ぐ力」等々の大幅向上である。スマートファクトリー化はその目標達成のための一つの手段である。構築に当たっては自動機器に関する国際的な標準化団体である ISA が 1995 年に提案した製造 IT のリファレンスモデル ISA-95 が参考になる。

元湘南工科大学 片岡 征二

2. 100年に一度の大変革を生き抜く製造現場のDX/PLC “その実態” -----13 : 30～14 : 20

100年に一度の大変革は何も製品のデジタル化だけでなく、人手不足にあえぐ製造現場こそ必須の取り組みだ。“コロナ”明けの2024年から明らかにDX/PLC・センシングへの取り組みの“潮目”は変わり、自動車、Tier 1を中心にプレス・樹脂・ダイカストなどの製造DXへの積極的なDX投資が目立つ。まさに生き残りをかけて製造現場・金型など素形材へのDX/PLC・IoT・センサ導入は、その取り組みの成否が生き残りの2極化する様相だ。本講演では、その最先端の取り組みを紹介する。

(株)KMC 代表取締役社長 佐藤 声喜

3. SCADAの導入で変わる工場管理の未来-----14 : 20～15 : 10

SCADA (監視制御とデータ収集) は、製造現場の「見える化」と最適化を支える中核システムである。本講演では、SCADAの基本構造、機能、導入のメリットをわかりやすく解説する。また、MESやERPとの統合、さらにIoTやデジタルツイン技術との連携を通じた製造業DX推進への貢献や、スマートファクトリー実現に向けた具体的な活用事例を紹介する。

(株)IXE 代表取締役社長 古賀 寿夫

4. MESとは?MES製品選びの考え方とMES標準業務機能一覧のご紹介-----15 : 20～16 : 10

近年、MESに市場の注目が集まっている。一方、MESとは何か?が浸透しておらず、多くの企業が理解の難解なMESAのMESの11機能ベースで、MESの検討を進めている。また、市場には多くのMES製品が存在しており、どの製品を、どう選ぶべきか?が分からないという声も多い。本講演では、MESとは何かを、スマートファクトリー研究会のメンバーで作成したMES標準業務機能一覧ベースに説明し、主要なMES製品及びその選び方について解説する。

アビームコンサルティング(株)SCM改革戦略ユニット シニアマネージャー 阿部 洋平

5. 製造業向け ERP の機能と導入メリット、日本の製造業の課題-----16 : 10~17 : 00

日本の製造業においても ERP 導入比率は高いとされているが、その大半は会計中心の導入となっている。生産管理や販売管理、在庫管理など製造業のコア業務は独自開発のシステムや紙・Excel などによる業務管理が多くこれが海外企業との競争力を削ぐ要因となっている。本講演では、製造業向け ERP の機能と導入メリットについて現状の課題から分かり易く説明する。

(株)フロンティアワン 代表取締役 鍋野 敬一郎

* 状況によっては、プログラムの変更、開催を中止させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●参加要領

◇定員 80名 (申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります)

◇参加費 会員価格：6,600円(消費税込み)

一般価格：13,200円(消費税込み) **講師資料はPDFで送信予定です**

素形材センター特別賛助会員・一般賛助会員、日本金属プレス工業協会会員は、会員価格となります。協賛会員の方へ：協賛会員の特典にセミナー・研修の割引はありません。ご理解をお願いいたします。開催前日まで参加取消のご連絡がなく、当日欠席されても参加費はお返しいたしません。

◇申込方法

素形材センターホームページからお申込み可能です。

<https://www.sokezai.or.jp/pages/112/> <https://www.sokezai.or.jp/pages/110/>

下記申込書に所要事項記入の上、E-mailでお申込みできます。

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館3階301号室

一般財団法人 素形材センター 企画部

E-mail kensyu@sokezai.or.jp 電話 03(3434)3907

◇参加費のお支払い

参加申込後、請求書を郵送します。

(領収書を必要とする場合は、申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料はご負担願います。)

◇申込締切 令和7年2月13日(木)

◇注意事項

・Cisco Webex Meetingsを使用したオンラインセミナーです。セミナー参加のために、パソコンやタブレットなどの端末と、インターネット環境、メールアドレスが必要です。また、通信費は参加者負担になります。

・カメラ、マイク、スピーカーを備えたパソコンでの参加を推奨しています。

・セミナーの録音・録画等や、本セミナーのコンテンツ(セミナー参加のURL、パスワード等)を外部に流出させる行為は、固くお断りいたします。

・1名様につき1つのお申し込みとさせていただきます。1社で複数名様をご参加の場合、それぞれお申込みください。

・映像や音声がかかる場合がございます。ご了承ください。

・参加者ご自身の機材に関するトラブル等のお問合せには、事務局は対応いたしかねます。

※その他注意事項につきましては、参加申し込み後にお送りするメールに記載させていただきます。

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本セミナーの事務利用とともに、参加者リストを作成し、講師に手交します。また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。

申込書

素形材センター企画部 E-mail kensyu@sokeizai.or.jp

オンライン素形材技術セミナー
金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション（DX）・第3弾
製造業DXの具現化手段「スマートファクトリー」の構築

申込日 令和 年 月 日

会社名		
住所	〒	
電話番号		所属区分該当に○印をつけて下さい ア. 素形材センター特別賛助会員 イ. 素形材センター一般賛助会員 ウ. 日本金属プレス工業協会会員 エ. 上記いずれも該当せず (素形材センター協賛会員含む)
E-mail		
受講者氏名	ふりがな	
所属・役職		
業務経験年数		
備考		

*メールマガジン 購読希望

素形材センターメールマガジン購読をご希望の方はチェックを入れてください。
定期的に、事業の最新情報、募集案内、イベント情報、その他、官庁関連情報、業界情報などを無料で配信
しています。